

VISION5 安全・安心「大阪ナンバー1」		
	目 標	実 績
24	緊急災害対策本部を設置します。	<p>◎平成27年度に災害時の情報伝達機能の核となる防災行政無線の更新事業（デジタル化）を実施し、防災スピーカーを24局に増設し、伝達域の大幅な拡大に取り組みました。</p> <p>◎緊急速報メールによるエリアメールの配信、SNSの活用、消防団車両の巡回など避難情報の伝達手段を増やしました。</p> <p>◎災害時の指揮本部の機能強化のため危機管理課を耐震化施設のリビエールホール内へ移設いたしました。</p> <p>◎地域の避難場所を分かりやすくするため、平成28年度から避難場所誘導看板の更新を開始しました。</p> <p>◎あらゆる災害に迅速に対応するため、平成27年度に柏原市地域防災計画の改定を行いました。また、平成28年度は初動マニュアル等の作成に着手しました。</p>
25	防犯灯LED化や監視カメラの拡大により犯罪撲滅都市を目指します。	<p>◎平成26年度から町会が設置する防犯カメラへの補助制度を創設し、平成27年度末現在、合計39台に補助を行いました。</p> <p>◎防犯灯のLED化を推進し、平成27年度時点で市内防犯灯の44%をLED化しました。</p>
26	各消防団設備強化に努めます。	<p>◎消防団装備の充実として、たび重なる風水害への十分な対応が可能となるよう、平成26年度には全団員に防寒着、雨衣等の支給を行い、平成27年度には、災害現場で使用する発電機・投光機を購入しました。さらに平成28年度は防火着の配備を行いました。</p>
27	柏原病院の黒字化に向けての抜本的経営改革と医療の充実を目指します。	<p>◎経営健全化のための「市立柏原病院新改革プラン（平成24～27年度）」による改善効果のみでは経営黒字化に及ばない見通しであることから、平成26年度に市立柏原病院あり方検討委員会を設置し、専門的見地から今後の方向性について検討を諮問し、平成27年3月に答申を受けました。</p> <p>◎答申内容をもとに改革案を柏原病院に示し、平成27年度からの柏原病院の取り組み成果が顕著に表れたことにより、平成27年12月に公設公営での柏原病院の存続を決定し、必要な財政支援を行いました。</p>
28	障がい者や高齢者等の目線に立ってバリアフリー化に取り組みます。	<p>◎柏原市障害者計画及び第3期障害福祉計画等の福祉計画に基づき、誰もが利用できるユニバーサルデザインによる施設改良や施策への理解を深めるための啓発・教育による心のバリアフリーに取り組みました。</p> <p>◎障害福祉サービスの一層の充実を図り、障害者が安心して生活を営むことができるように、平成27年度に柏原市障害者計画及び第4期障害福祉計画を策定しました。</p> <p>◎高齢者が安心して地域で暮らしていくために、平成27年度から3カ年を計画期間とする「第6期柏原市高齢者いきいき元気計画」を策定しました。</p>
29	生活保護適正化に努めます。	<p>◎ジェネリック医薬品の普及促進や重複受診の是正など医療費の適正化に取り組みました。</p>
30	孤立死の防止対策に努めます。	<p>◎日々の見守り体制充実のため、新聞販売所3事業者及び生活協同組合1事業者と見守り協定を締結しました。</p> <p>◎自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる人、いわゆる「ゲートキーパー（命の門番）」を養成するため、平成25年度から自殺対策緊急強化事業として養成講座を実施しました。</p> <p>◎この養成講座の修了実績として、平成25年度から延べ40人を超える市民の皆様に加えて、市役所の窓口職員も同様に延べ50人以上がゲートキーパーになりました。</p>

31	児童虐待防止対策に取り組みます。	◎児童虐待等を未然に防ぐことを目的に、家庭児童相談員を増員し、市域内で柔軟に対応できる体制づくりのため、オアシス内への配置に加え、平成25年度からは国分保育所内の子育て支援センターに新たに家庭児童相談員を配置しました。
32	市内循環バス網のさらなる充実を図ります。	◎平成25年度から新たに国分市場ルートを新設しました。 ◎平成27年度から一部路線の民間委託を行いました。
他①	公共施設の整備・改修を進めます。	◎竜田古道の里山公園に自然体験学習施設スマイルランドを開設しました。 ◎片山テニスコート、サンヒル柏原テニスコートの改修を実施しました。
他②	がん検診の充実	◎市民の健康増進に向け、乳がん・子宮頸がん検診は2年に1回、大腸がん・胃がん・肺がん検診は1年に1回の無料受診を維持するとともに、平成27年6月からは市内の医療機関で大腸がん検診が受診できるようにしました。